【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成17年8月4日(2005.8.4)

【公表番号】特表2002-537076(P2002-537076A)
【公表日】平成14年11月5日(2002.11.5)
【出願番号】特願2000-600720(P2000-600720)
【国際特許分類第７版】
　Ａ６１Ｍ　5/14
　Ａ６１Ｍ　31/00
　Ａ６１Ｍ　39/02
【ＦＩ】
　Ａ６１Ｍ　5/14　３４５
　Ａ６１Ｍ　31/00
　Ａ６１Ｍ　5/14　４５９Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成15年11月14日(2003.11.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　患者の腹及び胃又は他の臓器の壁の開口部に通すように設計された装置（１０）において、
　一端が流体源に取り付けられており且つ他端（１０３）が連結部材（１５）に取り付けられた細長いチューブ（８６）を含む、栄養補給セット（１４）、
　患者の開口部の内側に配置されており、患者の外側に着座させた外部保持部材（１８）と患者の臓器の内側に固定した内部保持部材（２０）との間に配置されたチューブ状部材（６０）を含み、前記流体源と患者との間を流体流れの連通を形成するため、前記連結部材（１５）を前記外部保持部材（１８）に取り付けることができる、栄養補給チューブ（１６）、及び
　両部分（２６、３０）を持ち、前記細長いチューブ（８６）に沿って摺動自在に係合し、前記両部分の一方の部分（２６）は前記連結部材（１５）と固定的に係合し、前記両部分の他方の部分（３０）は前記外部保持部材（１８）と固定的に係合する固定部材（１２）であって、前記連結部材（１５）は、先ず最初に前記固定装置（１２）の前記両部分（２６、３０）の一方の部分を前記連結部材（１５）又は前記外部保持部材（１８）のいずれかから外さないと、前記外部保持部材（１８）から係合解除できない、固定部材（１２）を含む、装置（１０）。
【請求項２】
　前記外部保持部材（１８）は本体（１９）を含み、この本体（１９）は貫通通路（７９）及び二つの両脚部（５８）を形成し、前記二つの両脚部（５８）は、これらの脚部（５８）の各々と前記通路（７９）との間に溝（７０）を夫々形成する、請求項１に記載の装置（１０）。
【請求項３】
　前記固定部材（１２）の前記両部分（２６、３０）の一方の部分は、二つの両アーム（３２、３４）及びこれらの部分間に形成される開口部（４０）を含む、請求項１に記載の装置（１０）。

【請求項４】
前記固定部材（１２）は、前記両部分（２６、３０）間に配置された開口部（４０）を更に含む、請求項１に記載の装置（１０）。
【請求項５】
前記細長いチューブ（８６）は、前記固定部材（１２）の前記開口部（４０）を通して前記固定部材（１２）と摺動自在に係合する、請求項４に記載の装置（１０）。
【請求項６】
前記固定部材（１２）の前記二つの両アーム（３２、３４）は、前記固定部材（１２）が前記連結部材（１５）及び前記外部保持部材（１８）と同時に係合したとき、前記外部保持部材（１８）の前記夫々の溝（７０）と固定的に係合するようになっている、請求項３に記載の装置（１０）。
【請求項７】
前記固定部材（１２）の前記両部分（３２、３４）の一方が保持部分（１１６）を含み、この保持部分（１１６）は、前記固定部材（１２）が前記連結部材（１５）及び前記外部保持部材（１８）と同時に係合したとき、前記連結部材（１５）と固定的に係合するようになっている、請求項１に記載の装置（１０）。
【請求項８】
前記流体源と前記チューブ状部材（６０）の自由端（６１）との間に流体通路を形成する、請求項１に記載の装置（１０）。
【請求項９】
前記細長いチューブ（８６）は前記チューブ状部材（６０）に関して垂直な関係で前記連結部材（１５）に取り付けられている、請求項１に記載の装置（１０）。
【請求項１０】
患者の腹及び胃又は他の臓器の壁の開口部に通すように設計された装置（１０）において、
先端開口部（８１）及び基端開口部（８３）を持つ貫通通路（７９）を形成する本体（１９）を含む外部保持部材（１８）、
先端（６１）及び基端（６３）を持ち、第１内腔（５９）がこれらの間に形成され、前記先端（６１）が前記通路（７９）の前記基端開口部（６３）に連結された、チューブ状部材（６０）、
身体器官の内側に保持するため、前記チューブ状部材（６０）の前記基端（６３）に連結された内部保持部材（２０）、
第１開口部及び第２開口部を含み、第２内腔（１０２、１０３）がその間に形成され、前記第２開口部は、前記外部保持部材（１８）の前記先端開口部（８１）に連結されるようになった、連結部材（１５）、
第１端及び第２端、及びこれらの間に形成された第３内腔（１００）を有し、前記第１端は流体源に連結されており、前記第２端（１０３）は前記連結部材（１５）の前記第１開口部に連結された、細長いチューブ（８６）、及び
先ず最初に前記固定装置（１０）を前記連結部材（１５）又は前記外部保持部材（１８）のいずれかから外さなければ、前記連結部材（１５）又は前記外部保持部材（１８）のいずれも互いから係合解除されないように前記連結部材（１５）を前記外部保持部材（１８）に同時に固定するための手段（１２）を含む、装置（１０）。
【請求項１１】
内部固定装置（１６）の中空外部保持部材（１８）に取り付けられた連結部材（１５）を固定するための方法であって、前記内部固定装置（１６）は、両端（６１、６３）を持つチューブ状中空部材（６０）を含み、このチューブ状部材（６０）は、患者の腹及び胃又は他の臓器の壁に通すように設計されており、前記チューブ状部材（６０）の一端（６１）は患者の内側に配置された中空内部保持部材（２０）に取り付けられており、前記チューブ状部材（６０）の他端（６３）は、一端を前記連結部材（１５）に取り付けることができる前記外部保持部材（１８）に取り付けられており、前記連結部材（１５）は、第

１開口部及び第２開口部、及びこれらの間に形成された第１内腔（１０２、１０３）を含み、前記第１開口部は細長いチューブ（８６）に取り付けることができ、この細長いチューブ（８６）は第１端及び第２端、及びこれらの間に形成された第３内腔（１００）を有し、第１端は流体源に連結されており、第２端（１０３）は前記連結部材（１５）の前記第１開口部に連結されており、前記流体源と前記内部保持部材（２０）との間に流体流れの連通が形成され、前記固定部材（１１２）は前記細長いチューブ（８６）に沿って摺動自在に係合しており、前記固定部材（１２）は前記連結部材（１５）及び前記外部保持部材（１８）を同時に互いに保持するための両部分（２６、３０）を含む、方法において、
ａ）前記連結部材（１５）を前記外部保持部材（１８）と係合する工程、
ｂ）前記流体源と前記内部保持部材（２０）との間に流体流れ連通を形成する工程、
ｃ）前記固定部材（１２）を把持し、前記固定部材（１２）を、前記両保持部分（２６、３０）の一方が前記連結部材（１５）と係合し、前記両保持部分（２６、３０）の他方が前記外部保持部材（１８）と係合するまで、前記細長いチューブ（８６）に沿って摺動する工程、及び
ｄ）先ず最初に前記両保持部分（２６、３０）の少なくとも一方を係合解除しないと前記連結部材（１５）を前記外部保持部材（１８）から外すことができないように、前記両保持部分（２６、３０）の一方を前記連結部材（１５）に固定し、前記両保持部分（２６、３０）の他方を前記外部保持部材（１８）に固定する工程を含む、方法。

【請求項１２】

栄養補給セット（１４）を患者の臓器の内側に配置された栄養補給チューブ（１６）に固定するため、細長いチューブ（８６）に沿って摺動自在に係合するようになった固定部材（１２）において、

両保持部分（２６、３０）を持ち、これらの両保持部分（２６、３０）の一方は、前記栄養補給セット（１４）に固定的に係合でき、前記両保持部分（２６、３０）の他方は、前記栄養補給チューブ（１６）に固定的に係合でき、そのため前記栄養補給セット（１４）は前記固定部材（１２）によって前記栄養補給チューブ（１６）に同時に固定される本体（２２）を持つ、固定部材。

【請求項１３】

前記両保持部分（２６、３０）の前記一方は、前記連結部材（１５）を前記固定部材（１２）に固定的に係合するようになったタブ区分（２４）を含む、請求項１２に記載の固定部材（１２）。

【請求項１４】

前記外部保持部材（１８）と係合可能な前記両保持部分（２６、３０）の前記他方は、一対の両アーム（３２、３４）を含み、これらの対をなした両アーム（３２、３４）は前記外部保持部材（１８）を前記固定部材（１２）に固定的に係合するようになっている、請求項１２に記載の固定部材（１２）。

【請求項１５】

前記外部保持部材（１８）は、前記両アーム（３２、３４）と係合するようになった一対の溝（７０）を画成する、請求項１４に記載の固定部材（１２）。

【請求項１６】

先ず最初に前記両保持部分（２６、３０）の少なくとも一方を前記連結部材（１５）及び前記外部保持部材（１８）から係合解除しないと、前記連結部材（１５）を前記外部保持部材（１８）から外すことができない、請求項１２に記載の固定部材（１２）。

【請求項１７】

一端が流体源に取り付けられており且つ他端が連結部材に取り付けられた細長い中空チューブを含む、栄養補給セット、

外部保持部材を有する中空のチューブ状部材を含み、前記流体源と患者との間を流体流れの連通を形成するため、前記連結部材を前記外部保持部材に取り付けることができる、栄養補給チューブ、及び

両部分（２６、３０）を持ち、前記細長いチューブに沿って摺動自在に係合し、前記両

部分の一方の部分は前記連結部材と摺動自在に係合し、また前記両部分の他方の部分は前記外部保持部材と摺動自在に係合する固定部材であって、前記連結部材は、先ず最初に前記固定装置の前記両部分（２６、３０）の一方の部分を前記連結部材又は前記外部保持部材のいずれかから外さないと、前記外部保持部材から係合解除できない、固定部材を含む、栄養補給システム。

【請求項１８】

前記外部保持部材は本体を含み、この本体は貫通通路及び二つの両脚部を形成し、前記二つの両脚部は、これらの脚部の各々と前記通路との間に溝を夫々形成する、請求項１７に記載の栄養補給システム。

【請求項１９】

前記固定部材の前記両部分（２６、３０）の一方の部分は、二つの両アーム及びこれらの部分間に形成される開口部を含む、請求項１８に記載の栄養補給システム。

【請求項２０】

前記固定部材は、前記両部分（２６、３０）間に配置された開口部を更に含む、請求項１７に記載の栄養補給システム。

【請求項２１】

前記細長いチューブは、前記固定部材の前記開口部を通して前記固定部材と摺動自在に係合する、請求項２０に記載の栄養補給システム。

【請求項２２】

前記固定部材の前記二つの両アームは、前記固定部材が前記連結部材及び前記外部保持部材と同時に係合したとき、前記外部保持部材の前記夫々の溝と固定的に係合するようになっている、請求項１９に記載の栄養補給システム。

【請求項２３】

前記固定部材の前記両部分（３２、３４）の一方が保持部分を含み、この保持部分は、前記前記両部分（３２、３４）の他方が前記外部保持部材と摺動自在に係合したとき、前記連結部材と摺動自在に係合するようになっている、請求項１７に記載の栄養補給システム。

【請求項２４】

前記流体源と前記チューブ状部材との間に流体通路を形成する、請求項１７に記載の栄養補給システム。

【請求項２５】

前記細長いチューブは前記チューブ状部材に関して垂直な関係で前記連結部材に取り付けられている、請求項１７に記載の栄養補給システム。

【請求項２６】

フィステル形成チューブに連結部材を固定するための装置において、前記装置は、

一端及び他端から成る両端を有し、前記一端が前記連結部材に摺動自在に係合可能で、前記他端が前記フィステル形成チューブと摺動可能に係合可能である、本体を備え、

前記連結部材及び前記フィステル形成チューブは、前記両端の一端または他端が前記連結部材または前記フィステル形成チューブのいずれからも、最初に係合が解除されることなしには互いに係合解除されない、装置。

【請求項２７】

フィステル形成チューブに取り付けられた連結部材を固定する方法であって、前記フィステル形成チューブが、患者の外部に設けられる外部保持部材と、患者の内臓に形成される開口を貫通して挿入できるチューブ状部材とを有し、内腔が、前記内蔵の内側に流体を提供するための前記フィステル形成チューブが貫通する流体通路を規定し、前記連結部材の一端は前記外部保持部材に取付可能であり、連結部材の他端は細長いチューブに取付可能であり、固定部材が前記細長いチューブに沿って摺動自在に係合し、前記固定部材が、前記連結部材と外部保持部材とを一緒に同時に保持するための両部分（２６、３０）を有する、前記固定方法が

ａ）前記連結部材を前記外部保持部材と係合する工程、

ｂ）前記流体源と前記フィステル形成チューブとの間に流体流れ連通を形成する工程、
ｃ）前記固定部材を把持し、前記固定部材を、前記両部分（２６、３０）の一方が前記連結部材と係合し、前記両部分（２６、３０）の他方が前記外部保持部材と係合するまで、前記細長いチューブに沿って摺動する工程、及び
ｄ）先ず最初に前記両部分（２６、３０）の少なくとも一方を係合解除しないと前記連結部材を前記外部保持部材から外すことができないように、前記両部分（２６、３０）の一方を前記連結部材に固定し、前記両部分（２６、３０）の他方を前記外部保持部材に固定する工程を含む、方法。

【請求項２８】

連結部材をフィステル形成チューブに固定するため、細長いチューブに沿って摺動自在に係合するようになった固定部材において、

両部分（２６、３０）を持ち、これらの両部分（２６、３０）の一方は、前記連結部材に摺動自在に係合でき、前記両部分（２６、３０）の他方は、前記フィステル形成チューブに摺動自在に係合でき、そのため前記連結部材及びフィステル形成チューブは前記両部分によって互いに同時に係合される、固定部材。

【請求項２９】

前記両部分の一方は、前記連結部材を前記固定部材に固定的に係合するようになっているタブ部分を有する、請求項２８に記載の固定部材。

【請求項３０】

前記フィステル形成チューブに係合可能な前記両部分の他方は、一対の両アームを有し、前記一対のアームは前記フィステル形成チューブを連結部材に固定して係合するようになっている、請求項２８に記載の固定部材。

【請求項３１】

前記フィステル形成チューブは、前記両アームに係合するようになっている一対の溝を画成する外部保持部材を有する、請求項３０に記載の固定部材。

【請求項３２】

前記接続部材は、先ず最初に前記両部分（２６、３０）の少なくとも一方を前記連結部材及び前記外部保持部材から係合解除しないと、前記連結部材を前記外部保持部材から外すことができない、請求項３１に記載の固定部材。